

多様な人が過ごせる 理想的な避難所を 考えよう！

2025.9.16 (火)

- 時 刻 13:30～17:00
- 場 所 社会福祉法人くるみ くるみの森
高岡市佐野548-2
TEL: 0766-54-5703
- 参加費 無料
- 定 員 20名

内容

1. 話題提供(支援の現場より)
 - ・高岡市の個別避難計画作成の取り組み・・・高岡市社会福祉課 安田 円香さん
 - ・医療的ケア児等の災害時支援・・・医療的ケア児等コーディネーター 松田 瞳さん
2. 研修
 - ・避難所についての事例
 - ・基本的な環境で必要な事(要配慮者含む)
3. ワークショップ 避難所のジオラマ作り
4. まとめと質疑応答

※ 避難所で役立つ生活用品の展示もいたします。



皆さんは災害が起きた時の避難所のイメージはできますか？
避難所には多様な人がやってきます。
高齢の人、障害のある人、小さな子ども
のいる人、外国の人、ペット連れの人…
そんな多様な人と一緒に避難所に住むこ
とになった時、どんな避難所だったらみ
んなが安心して過ごせるでしょう？
今回はそんなことを皆さんと一緒に考え
てみたいと思います。



講師：坂井公淳さん&渡嘉敷唯之さん

厚生労働省が支援する「被災者高齢者等把握事業」の能登半島地震におけるコーディネーター。輪島市からの依頼に基づき市内の全世帯を訪問しアセスメント調査する事業に携わった。

坂井 公淳(さかい きみあつ)さん

長野県飯田市 感環自然村 代表
米国消防署にて救急救命士、消防士として勤務。
帰国後子どもキャンプ企画運営に携わり、2010年地
域の子ども達が言語、国籍、障がいの有無に関係なく
集える場として長野県飯田市に感環自然村設立。
大リーグヤンキースや日米野球等での通訳の他、
東日本大震災の復興支援活動にも長く携わる。

渡嘉敷 唯之(とかしき ただゆき)さん

静岡市 株式会社CoAct 代表取締役
今後起きる災害に備え、介護福祉施設等の事業継続計
画(BCP)の策定や、訓練、見直し等の運用まで含
めた事業継続マネジメント(BCM)体制の構築を行
う。「やさしい日本語で学ぶ外国人介護士の防災 地震編」
「福祉施設 机上訓練ワークブック(地震編)」
「介護施設の災害・感染症対応」等 執筆も多数

主催：NGOダイバーシティとやま
共催：富山県自閉症協会 / 社会福祉法人くるみ

お申し込みはこちらのQRコードから
[またはdiversity.t@gmail.com](mailto:diversity.t@gmail.com)



※この事業は富山県関係人口1,000万人協働促進事業補助金により実施しています。